



ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
To Rotary club presidents and secretaries

Vol.9



**ロータリー：
変化をもたらす**

**2018
03**

水と衛生月間

田中ガバナー事務所
群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL 027-212-2840
FAX 027-212-2841

目次

ガバナーメッセージ「水と衛生月間」	01
新会員セミナー・事前アンケート 集計結果	03
第1回地区補助金予備審査会	16
第六分区女性会員の集い	17
第2回 会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会	18
米山記念奨学会50周年式典	19
第2分区A ロータリーデー	20
日程表	21
地区チーム研修セミナー	22
新会員セミナー	23
2017-2018年度下期会員増強・維持に関するアンケート集計結果	25
Rotary's Great Objective「ロータリーの偉大な究極的目標」	27
ぐんま経済新聞	40
年間行事予定表	44
新会員紹介	47
文庫通信	49
出席報告	50
コラム	51
ガバナー事務所よりお願い	52



ガバナーメッセージ

国際ロータリー 第2840地区
2017-2018年度 ガバナー
田中 久夫

特別月間テーマ：水と衛生月間

サラリーマンなら昨年の3月末で定年退職という人生のはずでありましたが、大学教員の定年は65歳、税理士業は定年なし、ということで私はいまだに二足のわらじを履いて仕事を続けております。

一方、私の友人の多くは皆定年を迎え、すでに1年間もノンビリぶらぶらしている状態です。そんな彼らに、定年前からロータリーの入会を勧めていましたが、当時は思いっきり余生を楽しむ風情で、定年後は毎日ゴルフが出来る、家庭菜園が出来る、旅行が出来る、などなど言いたい放題でまるっきり他人の話など聞く耳を持たない状態でした。

ところが、ここ最近になって彼らの言うところでは、「人生に目的がないということがこれ程に空しく辛いものとは思わなかった。」「退屈とは死ぬほど苦しいものだということを知った。」ということを知ったというのです。

そこで一番、私から蘊蓄の一つを披露して、「ラテン語のfinis（英語ではfinish）には二つの意味がある。一つは終わりということだが、もう一つは目的という意味である。」「目的を持った人間は1日が1時間のように早く感じられるのに対し、目的を持たない人間は1日が1週間の長さを感じられるのだ。」など……。そしてもう一押し。「死は誰にもやってくる。それを引き延ばすことだけが生の目的ではない。死の前の生が充実することだけが意味あることなのだよ。」と言い放つ。そして、だからロータリーが必要なのだ、と畳みかける。ロータリーに入れば、毎週決まった曜日の決まった時間に外出する、人様に会うのだから少しはお洒落をしよう、友人に1週間の出来事を話そう、友人と次の約束をしよう、そんな期待感で1週間が過ぎるのは本当に楽しいぞ、だからお前もロータリーに入れ、とこんな感じで勧誘するのです。

ところが、これまでのところ打率は0割、誰も私の話に興味を抱きません。誘っている私の人間性に問題があるのかな、と反省もしてみるのですが……。いったい世間様はロータリーをどのようなものだと理解しているのでしょうか。

ここに、ロータリーの門を叩いて数年の新会員から集めたデータがあります。ロータリーの経験的には一般の人に近い新会員からのデータなので、世間様の持つロータリーのイメージが判るような気がします。（2/18に行われた新会員セミナー（対象者：入会3年未満の会員）において対象者から回収したアンケート（214通）の集計結果をまとめて新会員の標準的なモデル像をイメージすると以下ようになります。このアンケート結果は、別のページに詳細を載せてありますので、会長はじめクラブの役員の方々にはご覧いただきたいと思っております。）



ガバナーメッセージ

- ・クラブへの入会のキッカケは知人や取引先から勧誘されたから、
- ・入会前は地元の有力者やお金持ちの集まりで敷居が高いところだと思っていたが、
- ・入ってみると楽しいし、皆が仲良く接してくれるので、
- ・多くの友人・知人が出来たし、異業種の仲間も広がった、
- ・でも、若手の会員や女性会員は少ないし、会費やそれ以外の金銭的負担も重い、
- ・今後の課題は、例会の頻度を見直したり夜間例会を開いたりして、若い会員を増やし、ロータリーの広報の充実、活動をアピールするイベントを開催することが必要だと思う。

というところでしょうか。

入会間もない会員はクラブにとっての宝です。その人がクラブに馴染めば周りの友人を誘ってくるし、その人が馴染めずクラブを退会するとその周辺の人たちに、「ロータリーは詰まらない」との風評を広めてしまうかも知れません。入会后、早いうちにロータリーの何たるかを知っていただく研修を行い、クラブに馴染んでもらうようにしたいものです。

本題です。今月の特別月間テーマは、「水と衛生」です。当地区にも幾つかのクラブは、毎年のようにフィリピン、インドネシア等に行き井戸や水道水の浄化装置を寄贈するプロジェクトを実施しているようです。大変貴重な奉仕活動だと思いますが、残念なのが、その活動自体が私たちや一般の方々に広く周知されていないように感じられることです。

今年度の地区目標の一つに「公共イメージの向上」があります。せっかく良いことをしているのにそれが世間様に知られないのは「もったいない」ことだと思います。日本人の特性である陰徳主義から、「あたりまえのこと」、「これしきのこと」として公表を躊躇われているのかも知れません。しかし、遠く異国の地に赴いて井戸を掘り、飲み水を浄化して、周辺地域の人々の健康に資する行為は、決してあたりまえのこと、これしきのことではありません。立派に賞賛されるべきことです。是非とも、今後の奉仕活動を公表してください。

改めて、皆さんは今年度、上毛新聞、ぐんま経済新聞等においてロータリーの記事がたくさん掲載されていることにお気づきですか。それは地区の方針に従って、各クラブが積極的に広報をはじめた成果だと思います。今後も、Rotary Day、IM、周年行事などのイベントが続きます。担当者は、イベントには必ずマスコミを招聘して、ロータリーの公共イメージに一役買ってもらう手配をお願いします。先程のアンケートにも、一般の方にRCの活動内容が知られていない、と嘆かれた意見がありました。もう一度、広報の重要性を認識しましょう。



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

1. RC入会の動機(理由)は？

友人、知人、取引先、お世話になっている方からの勧誘	70
前任者からの引き継ぎ	51
断りきれなかった	25
人脈・仲間をつくりたかった	23
奉仕活動、地域貢献がしたかった	22
家族、親族の勧め、家族がロータリアン・元ロータリアン	10
会社指示、方針	9
自分自身の成長・スキルアップ・見識・視野を広げる	8
RCの活動に興味があった	6
仕事に繋がると思ったから	5
新たな世界へ入りたかった	2
家族で楽しめる会と聞いたので	1
一度は入会してみようと思った	1
とにかく入会を！	1
他の会と比べRCが一番良いと感じた	1
RCに入会したら、ほかの勧誘を断れると思った	1
野球	1
怖いもの見たさ	1

2. 誰からの勧誘が入会を決めたポイントでしたか？

ロータリアン、知人、友人	72
仕事の取引先・仕事関係者	64
前任者からの引き継ぎ	43
J Cの先輩	15
会社指示、方針	11
自分の意志	10
家族・親族	5
Y E Gの先輩	3
お寺	2



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

3. 入会前に抱いていたRCのイメージは？

名士・地元有力者・社長・成功者・お金持ちの集まり	53
会費が高い・お金がかかる	45
敷居が高い・固いイメージ	34
年齢層が高い	27
例会・行事が多い、出席が厳しい、時間が取られる	23
地域貢献、奉仕活動	18
特になし	14
知らなかった	9
異業種交流	6
年齢が若いので務まるか心配・居場所があるか心配	4
ロータリー経験がある	3
よく分からなかった	3
男性の多い団体・男社会	2
お昼に会議をしている	2
会員数が少ない	2
楽しそう	2
まだ入会は早いと思った	2
J C出身者が多い	1
寄附に積極的	1
会員同士のつながりが強い	1
保守的	1
感じの悪い人が多い	1
すべてに関して前向きに取り組んでいる	1
最近は誰でも入会できる	1
イメージ通り	1
考えたことがない	1



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

4. 入会後に感じたRCの印象は？

楽しい、意外と楽しい	48
親しみやすい、優しく接してくれる	41
仲が良い、居心地がよい、アットホームな雰囲気	21
異業種交流	18
対人関係が広がり知り合いが増えた	11
会費が高い、お金がかかる	10
若手が多い	8
ロータリー活動・奉仕の精神に感銘	8
例会、行事、活動が多い	5
名士・地元有力者・社長・成功者・お金持ちの集まり	5
思ったより忙しい	4
勉強になる	4
メンバーが偉い方で緊張する、気後れする	3
有意義	3
積極的で前向きな人が多い	3
まだよくわからない	3
女性も多い	2
例会出席（昼）が難しい	2
夜間例会が楽しい	2
親睦の機会が意外と多い	2
堅苦しくなかった	2
知り合い、地元の先輩が多い	2
知り合いがいないので大変、大変だった	2
ロータリー用語の理解に時間を要した	2
いろいろな刺激を頂く	2
転勤族にとってはとても重要なコミュニティー	2



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

4. 入会後に感じたRCの印象は？

士業職が多い	2
派閥があり人間関係が難しそう	2
情報交換ができる	2
年齢差が高い	1
年配の方と交流が測れていない	1
財団寄附等のお金がかかる	1
昼間の時間帯が多い	1
出席が厳しい	1
イベントが盛り上がる	1
若年層と一緒に行動（イベント等）することの楽しさ	1
嫌な人が少ない	1
偉ぶった人がいない	1
奉仕活動が少ない	1
従来の活動の繰り返しで新しさがない	1
あまり格式・ステータスがない	1
先輩から得るものはある	1
J Cとは違って興味深い	1
J Cより楽で楽しい	1
J C出身者が多い	1
時間の使い方を上手くすればあまり仕事に影響はない（J C程ではない）	1
時間を上手く調整できる人の集まり	1
時間に余裕がある時は楽しい	1
やりがいがある	1
地元から世界を感じる活動が多い	1
医師が多い	1



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

4. 入会後に感じたRCの印象は？

サラリーマン会員（転勤族）が多い	1
個性の強い方が多い	1
家族参加が想像以上に多い	1
聞いてはいけないことがありそうで踏み込めない	1
情報交換ができる時間が十分でない	1
勧誘時に雰囲気が良いといわれその通りであった	1
会員がロータリーを楽しんでいる	1
形式が整った立派な会	1
仕事、業務優先で自由に参加できる	1
奉仕活動とは別に惰性で来ている人が多い	1
目的を持たないと継続は難しい	1
40才代ではまだ早い	1
役職に就くと忙しそう	1
内容が解るようになってきた	1
ほとんど出席できていない	1
何とも言えない	1
特になし	1

5. いまのRCで満足していることは？

人脈・知人・仲間ができた	83
異業種の知人・仲間ができた	65
見識、視野が広がった	12
先輩の話がきける・話ができる	8
特になし	8
親しみやすい、優しく接してくれる	7
奉仕活動が行える	5



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

5. いまのRCで満足していることは？

地元地域に貢献できている	4
情報交換ができる	4
まだ入会間もないのでわからない	4
年齢層が幅広い	3
名士・ハイソサエティの方との交流	3
夜間例会が楽しい	3
あまり出席できず申し訳ない	3
異業種の仲間、利害関係のない仲間との交流が自分自身の刺激になっている	3
委員会・有志の会での交流	2
会員数が多い	2
卓話で色々な方の貴重な話が聴ける	2
他の会と比べ年齢層が広いので勉強になる	2
定期的な例会があること	2
家族で参加できるイベントがある	2
お手本となる先輩が多い	1
取引先企業のオーナーの方々と定期的に コミュニケーションが取れる機会があり有意義	1
わざわざアポイントを取らずに例会前後に 仕事の話がすすめられることがある	1
定期的に募金をすることでボランティアをしている自覚ができた	1
委員長をやらせてもらっていること	1
ゴルフをやる気になれた	1
ゴルフの回数が増えた	1
ゴルフ部入会で先輩会員とも交流ができた	1



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

5. いまのRCで満足していることは？

様々な趣味などの話を聞き自分もやってみようという気持ちになれる	1
新しい趣味ができた	1
楽しい	1
居心地がよい	1
例会が生活のルーティーンとなり充実している	1
楽しいイベントがある	1
夜の会が少ない	1
海外のRCとの交流ができた	1
活動頻度が高くない	1
クラブ会員であることが自分にとって自信になっている	1
人間関係での成長や自分のアピールができる	1
物事の優先順位を判断することや時間の 使い方を考えることの訓練になっている	1
初めての経験が多いく多彩な体験ができる	1
地元の方との交流	1
男性不信が軽減した	1
信念を持って行動している人が沢山いる	1

6. いまのRCで不満に思うことは？

特になし	94
同年代(回答者40代)の会員が少ない、増えて欲しい	12
女性会員が少ない	11
会員数が少ない	6
会費が高い、お金がかかる	6
まだわからない	5



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

6. いまのRCで不満に思うことは？

例会（昼）に出席できない	5
例会の回数が多い	5
例会に出席できていない	4
同年代（回答者30代）の会員が少ない、増えて欲しい	3
同年代（回答者50代）の会員が少ない、増えて欲しい	3
若手が少ない（回答50代）	3
会費以外にもお金がかかるので 同年代を誘い辛い、安易に入会を勧められない	3
若手が少ない（回答40代）	2
会員の高齢化	2
出席者が限られている	2
会員数不足から役割負担が多い	2
他クラブ、友好クラブとの交流が少ない	2
月曜日が例会日	2
食事が美味しくない	2
例会時の座席の工夫	2
良い面である反面、時間にしばられる	2
いまのところ仕事の幅は広がらない、仕事につながらない	2
地元の間人ではないのでコミュニケーションが限られる、時間がかかる	2
一般の方にRCの活動内容が知られていない	2
女性会員がいない	1
会員数ばかり追いかけて魅力的な会にすることが後まわし	1
会員増強ありきなところ	1
メイク期間をもう少しフレキシブルな対応にしていただけるとありがたい	1



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

6. いまのRCで不満に思うことは？

日中又は夜間、両方の都合があう会員の為に 変則的例会開催をすれば出席率向上につながる	1
日時の調整	1
食事のバリエーション	1
食事を質素にして財源を奉仕活動に回すべき	1
卓話を沢山聞きたい	1
各会員の卓話の機会があった方がよい	1
講話はたまにが良い	1
親睦委員会の時間の厳守	1
強制でないにしろ奉仕活動が金銭的にも時間的にも負担になることが多い	1
楽しんで活動していない	1
奉仕活動の中身が自分の価値観と異なる	1
奉仕活動について会員の皆様と話あってみたい	1
他の会に排他的で交流しにくい	1
土日の活動多く参加しにくい	1
休日の活動は子供の習い事などの都合もあり参加しづらい	1
研修等含めて活動回数が多いことから参加に消極的な人が多いのではないか	1
休日に勉強会と称して召集がかかること	1
週末等の地区への出席が多く、家族が犠牲になる	1
セミナー等の出席が多い。なるべく一度にまとめてほしい	1
つまらない会合が多い	1
子育て期間中の為、例会を含めた行事に子連れで参加できないことが困る	1
「お金を出す」というボランティアは多いが地域の方と 一緒に汗をかくような活動が少ないように感じる	1



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

6. いまのRCで不満に思うことは？

所属委員会の選択権がない (不満ではないが、知らないうちに決まることが不思議)	1
入会間もないのに役職につかされた	1
ベテランより若い部長クラスの会員の方がRC活動に 活気がでると思う。(社長・支店長クラスは忙しいため)	1
自分の努力不足もあるがまだまだ会話さえしていない方が多い	1
ロータリーの歌の歌詞がない	1
本当のロータリーの意味は何なのか	1
各会員がどのような奉仕活動(含職業奉仕)を行っているかがわからない	1
全体参加で事を進めるより一部の人に負担が多くかかっている	1
クラブのチームワークがもう少しあった方がよい	1
もう少し会員同士、クラブ同士の交流があってもよい	1
規律が緩い	1
強制的なところがある	1
入会が早かった気がする	1
10年前に入会していればと思う	1



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

7. いまのRCはどうすれば良くなると思いますか？

若い会員を増やし、育成する	34
会員増強	19
広報の充実・活動をアピールするイベントの開催	19
わからない	19
夜間例会を増やす	18
現状に満足	15
女性会員を増やす	10
特になし	9
会費を下げる、金銭負担を減らす	8
例会開催頻度 (月2～3回に減らす)・例会のありかたの見直	5
例会の座席を工夫する (事前に事務局で決めるなど)	5
卓話を増やす	3
古い考え方を変える、古い会員や年配の方には当たり前なのがわからない	3
会員の皆様それぞれ具体的な事業内容や 趣味等パーソナリティーを深く知る、意見交換する	3
基本に立ち返って奉仕活動、地域貢献を増やす	3
入会基準を下げる	2
先輩会員の卓話を聞く機会があると面白いと思う	2
例会出席者を増やす	2
親睦委員会が集まる (新会員の教育をする)	2
野球、ゴルフ以外の趣味の会を増やす	2
内部組織・システムの変更	2
仕事につながるような交流を増やす	2
自分より若い会員が増え年代のバランスがより良くなると活性化すると思う	1
経営者に限らず、「志」のある方に門戸を開く	1



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

7. いまのRCはどうすれば良くなると思いますか？

会員数が多くなり一体感の醸成が難しくなっている 可能性がある。組織の適正規模を見直	1
賛助会員制度を導入する	1
クラブ数を減らす	1
友好クラブを増やす	1
会員数にこだわらない。会員数を増やしても欠席者が多ければ意味がない。	1
各会員の奉仕活動を例会で発表する	1
例会の食事を工夫する	1
例会場を変更する	1
家族例会を増やす	1
月に一度は他クラブ参加をする	1
小ミーティングを増やす	1
若い会員で分区ごとに集まって交流する	1
会合を減らす	1
必要最小限に委員会数を減らした方が負担が少なくなる	1
奉仕活動に使えるお金の条件を緩和し、奉仕活動を増やす	1
話しやすいネタが欲しい	1
規律に則り大人のクラブとして活動が必要	1
意義のある楽しい会にする	1
クラブ内のイベントを増やし、参加を促す	1
行事回数を増やさず、楽しい行事を増やす	1
E-Mailでのやりとりがもう少し増えると便利	1
会員意識を高める	1
会員個々の人間形成ができていくこと	1



新会員セミナー・事前アンケート 集計結果

(2018.2.18)

回答者数 214名 (男性 183名・女性 30名・不明 1名)

7. いまのRCはどうすれば良くなると思いますか？

ロータリーを通して会員の仕事に有益になっていくこと	1
会員自身の会社で4つのテストを実践してもらう	1
若い会員の意見等も尊重されるような場面があってもよいのかもしれない	1
子育てしながら働いている会員に優しい環境にしてもらえれば 継続できると思う。今後子育てをするような女性は勧誘し辛い	1
女性が入会しやすい会費他設定や優遇	1
親子会員枠	1
難しい。RC活動の限界か	1



第1回地区補助金予備審査会



開催日 : 2018年01月20日 (土)
 場所 : 伊勢崎プリオパレス
 報告者 : 地区副幹事 嶋方 智之

1月20日に伊勢崎プリオパレスにて第1回地区補助金予備審査会が開催されました。審査協議として先に2017-2018年度の地区補助金報告書について審査が行われ、続いて2018-2019年度の地区補助金申請書について審査が行われました。

今年度より申請書に関してはwebでの申請がスタートしたので効率の良い審査を進める事が出来ました。

次回は3月24日に第2回地区補助金予備審査会が行われます。

10:00	開 会	補助金委員長	板垣 忍
	挨拶	ロータリー財団委員長	伊能 富雄
10:10	審査協議		
	(1)2017-18年度実施事業	地区補助金報告書審査 資金管理副委員長	渋澤 誠
12:00	昼 食		
12:40	(2)2018-19年度実施事業	地区補助金申請書審査	
		地区補助金委員長	山田 利和
15:50	総 評	ロータリー財団委員会 アドバイザー	牛久保 哲男
16:00	閉 会	補助金委員長	板垣 忍



第六分区女性会員の集い



開催日 : 2018年01月26日 (金)
 場所 : 富岡市内「トラットリア エ バル イル ジラソーレ」
 報告者 : 地区副幹事 岡田 千代美・永塚 徹

去る1月26日(金)に、2017-2018年度「第六分区女性会員の集い」が、田中ガバナー・岡田ガバナー補佐・広瀬地区幹事をお迎えして、ロータリアンである富岡市内の「トラットリア・エ・バル・イル・ジラソーレ」にて行われました。ゲストに、「沖縄三線普及協会」北関東支部長の足利東RCの石井道康様を迎えて美味しい料理と楽しい時間を過ごしました。元「足利銀行支店長」の社宅であったという古民家風のオシャレな建物とギャップのある地元野菜を使用したイタリア料理を全員で味わったあと、石井さんの三線演奏を聞き、最後は全員で「なだそうそう」を熱唱して、充実した時間を過ごすことができました。私も、石井さんから「太鼓」を渡され楽しく一緒に演奏させていただきました。粋なセッティングしていただいた富岡中央RCの佐藤さん、大変有難うございました。今回の「第六分区女性会員の集い」で、2840地区8分区中、7分区で実施され、大変盛り上がったと聞いております。あと一回、「第四分区A」で実施される予定です。後ほど、ご案内が行くかと思いますが、「第四分区A」の女性会員の皆さんにも、多数参加いただいて他クラブの女性会員の方と交流していただければと思います。



第2回 会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会

開催日 : 2018年01月27日 (土)
 場所 : 前橋問屋センター会館 龍の間
 報告者 : 地区副幹事 市川 誠二
 永塚 徹
 大草 良広



去る1月27日(土)に、第2回会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会が開催されました。安藤会員組織強化委員長から、6月末に向けて会員増強と共に、退会防止が重要であるとのお話があり、退会理由を踏まえて対策を実施するようにと説明がありました。田中ガバナーからも、新会員対象のアンケートを実施しており、その結果を地区運営に生かして、新会員の退会防止につなげて行くとのお話もありました。出席されたガバナー補佐からも、退会防止の為には積極的な移籍の検討も必要ではないかとの提案もあり、地区全体での会員増強の重要性を参加者全員で共有できました。望月女性ネットワーク委員長から、女性会員は順調に増えているものの、一方では退会者も増えているので、退会理由の把握の必要性や、4月1日に実施される「ちびっこコンサート」の案内がありました。各女性ネットワーク委員からは、各分区毎に実施された「女子会」の感想が報告され、「他クラブの女性会員との交流が刺激になり、今後も実施したい」などの意見もいただきました。総括では、竹内会員組織強化副委員長から、会員組織強化には、第一は「クラブ基盤」の強化が重要で、少人数クラブの合併なども視野に入れて検討するべきであるとの事、第二に本日議題の「退会防止」、そして「戦略計画」が必要であると説明を受け、「クラブ運営の柔軟性を認める風潮にある中、会員増強の為にクラブ細則の見直しなどを各クラブは検討すべき」との指摘もいただき、参加者全員改めて、6月末迄の目標を再認識することができました。

- | | | |
|---------------|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 開会挨拶 | ガバナー
会員組織強化委員長
女性ネットワーク委員長 | 田中 久夫
安藤 震太郎
望月 和子 |
| 2. 分区現況報告 | 各ガバナー補佐 | |
| 3. 女性会員獲得について | 女性ネットワーク委員長
各女性ネットワーク委員 | 望月 和子 |
| 総括 | 女性ネットワーク副委員長 | 阿部 豊子 |
| 4. 出席者意見交換 | 出席者全員 | |
| 5. 委員長まとめ | 会員組織強化委員長
女性ネットワーク委員長 | 安藤 震太郎
望月 和子 |
| 6. ガバナー総括 | パストガバナー | 竹内 正幸 |
| 7. 閉会 | | |
| 8. 昼食後解散 | | |



米山記念奨学会 50周年式典

開催日 : 2018年02月04日 (日)
 場所 : お台場日航グランドホテル
 報告者 : 太田RC 板橋 一博

米山記念奨学会50周年の式典が、2月4日(日)に、東京お台場の日航グランドホテルにて総勢700名参加のもと盛大に開催されました。米山記念奨学会の役員やロータリー会員が約460名、世界から集まった学友やその家族は130、現役の奨学生も約50名が参加しました。



第1部では、小沢理事長の挨拶の後、高野孫左門会員(50周年記念委員会委員)がファシリテーターとなり、世界各国から集まった学友5名によるパネルディスカッションが行われました。

第2部の祝賀会は、二胡奏者で学友でもある姜暁艶さんの華麗な演奏で始まり、幼少期、米山梅吉翁との家族ぐるみの付き合いをする間柄だった阿部 志郎氏(神奈川県立保健福祉大学名誉学長)が記念講話を行いました。「米山梅吉の人となり」をたいへん興味深く話してくれました。

また、会場のあちこちで学友やロータリーメンバーたちが懐かしい気持ちいっぱい楽しそうに会話をしていました。そこには、国境などというものはなく大きな家族を感じることができました。そして、私たちロータリアンの一人一人の寄付からこんな大きな国際親善ができる「米山記念奨学会」の素晴らしさも再認識させられ式典でした。





第2分区A ロータリーデー



開催日 : 2018年02月08日(木)
報告者 : ガバナー補佐 遠藤 二三男

2月8日、私の担当する第2分区Aのロータリーデー行事、桐育乳児園へのタオル等の贈呈式に田中ガバナーをお迎えして、無事行事を挙行することができました。もちろん贈呈式は最後の段階で、そこに至るまでにはたくさんのロータリアンに、ご協力をいただいたわけであります。

桐育乳児園とは、親から育児放棄された0歳から3歳までの乳児を保護養育する施設で、同種のものはこちらを含めて群馬県内に3か所しかありません。

私の所属する桐生中央RCにおきましては、この乳児園へ当初金銭による拠金を行っておりましたが、会員数の減少や不景気の影響から会員からの拠金が少なくなってしまうところ、乳児園で子供が使うおかけに加工するタオルが足りないという話があり、会員に呼び掛けて年始にもらったタオルやタオルケット、バスタオルと拠金と合わせて贈呈することを、ここ十数年間行ってきました。

今回はこのタオルなどを第2分区A全クラブにて集めていただいたわけで、当日贈呈式会場にすべてのタオル等が集合したのですが、私の予想をはるかな上回る量に感激しました。ほんとうにロータリーの友情に感謝いたします。

なお、当日の贈呈式は当初桐育乳児園内で行う予定でしたが、園児のインフルエンザ集団感染が発生してしまい、会場を移して行うことになりました。本来であれば秋山理事長の案内により、園内を見学する予定でした。園児たちは屈託のない明るい表情の子もいれば、不安げに先生から離れられない子もいます。また外国人の子もいます。これらの子供たちの表情のすべてに、私たちの心を揺り動かすものがありますので、次回はぜひ園内で子供たちとふれあう企画ができればと思います。





日程表

各分区のRotary Day日程表 (第3四半期・1月～3月を予定)

分 区	ガバナー補佐	日 程	会 場	備 考	内 容
第1分区	大島 秀夫	3/21(水)	広瀬川河畔	清掃 (全6クラブ)	広瀬川周辺の清掃
第2分区A	遠藤 二三夫	2/8(木)	桐生ファミリア	タオル贈呈 (全5クラブ)	桐育乳児園への タオル・おもちゃ贈呈
第2分区B	森田 高史	4/13(金)	伊勢崎駅	植樹 (全5クラブ)	JR伊勢崎駅北口公園 ドイツ植樹
第3分区	永井 乙彦	3/11(日)	ケルナー広場	植樹 (全6クラブ)	河津桜植樹
第4分区A	中野 正美	2/22(木)	東毛学習センター	タオル贈呈 (全5クラブ)	太田市社会福祉協議会への タオル贈呈
第4分区B	槻岡 行支	3/31(土)	多々良沼公園	清掃 (全5クラブ)	次年度地区補助金事業 (桜の植樹)準備の下草刈り
第5分区	山田 晃	4/24(火)	花の駅美野原	植樹 (全6クラブ)	中之条クラブ50周年記念 事業との共同事業
第6分区	岡田 稔	2/23(金)	富岡北部運動公園	植樹 (全8クラブ)	紅葉の木3本植樹

各分区のIM日程表 (第4四半期・4月～6月を予定)

分 区	ガバナー補佐	日 程	会 場	備 考	内 容
第1分区	大島 秀夫	4/14(土)	シー新前橋	第3分区との 合同開催	1年間の締め括りとして、 各クラブが達成した①会員 増強の成果と②公共イメー ジアップのために貢献した 優れた社会奉仕活動を披露 してください。対象者は、 会長・幹事・会長エルク ト・会員増強委員長・公共 イメージ委員長・親睦委員 長・各奉仕プロジェクト委 員長・入会3年未満の会員 とします。日程は、午後の 適当な時間(2時ごろ)から 開始し、最後には懇親会 (立食型式でも構いません。 。)を設営してください。
第2分区A	遠藤 二三夫	4/15(日)	桐生ファミリア		
第2分区B	森田 高史	3/25(日)	伊勢崎ファミリア		
第3分区	永井 乙彦	4/14(土)	シー新前橋	第1分区との 合同開催	
第4分区A	中野 正美	3/10(土)	ティアグリーンパレス	第4分区Bとの 合同開催	
第4分区B	槻岡 行支	3/10(土)	ティアグリーンパレス	第4分区Aとの 合同開催	
第5分区	山田 晃	4/8(日)	ホテルグレイター		
第6分区	岡田 稔	4/28(土)	アミューズ富岡		



地区チーム研修セミナー



開催日 : 2018年02月10日 (土)
 場所 : 前橋問屋センター会館 2F 華の間

11:30~12:00	登録・受付		
12:00~13:00	昼食 (研修委員はチームごとに打合せ)		
13:00~13:05	開会挨拶	ガバナーエレクト	宮内 敦夫
13:05~13:10	本日の目的について	地区研修委員長	竹内 正幸
13:10~14:00	国際協議会報告	ガバナーエレクト	宮内 敦夫
	国際ロータリー年次テーマ		
	地区基本方針発表		
14:00~14:20	地区組織運営について	地区幹事	小暮 雅丈
	地区予算案について	地区会計長	齊藤 要
14:20~14:30	質疑応答		
14:30~14:40	休憩		
14:40~15:20	チームディスカッション (分科会)	A・Bの2チームへ	
15:20~15:40	チームディスカッション (発表)	各チームより代表2名 補佐・委員長	
15:40~16:00	PETS・SETSの準備について	地区幹事	小暮 雅丈
	分科会について	地区研修委員長	竹内 正幸
16:00~16:10	まとめ	(直前)ガバナー・地区研修副委員長	田中 久夫
16:10	閉会挨拶	ガバナーエレクト	宮内 敦夫



新会員セミナー



開催日 : 2018年02月18日 (日)
 場所 : メトロポリタン高崎
 報告者 : 地区副幹事 富山 俊吾

入会3年未満の新会員を対象にセミナーが開催されました。150名を超える新会員に曾我パストガバナーと本田パストガバナー・地区研修委員会委員長に講師をしていただき。ロータリーを知って頂きました。その後、全ガバナー補佐によるロータリーモーメントについて語って頂きました。懇親会は終始和やかなムードで限られた短い時間の中、他クラブの新会員同士語らい親交を深め楽しい時間が過ごせました。





新会員セミナー

開催日 : 2018年02月18日(日)
 場所 : メトロポリタン高崎
 報告者 : 地区副幹事 富山 俊吾

14:30 ~ 15:00 登録受付

第Ⅰ部【セミナーの部】

<司会> 地区副幹事 富山 俊吾

15:00	開会の辞	地区幹事	広瀬 雅美
15:00 ~ 15:20	ガバナー挨拶	ガバナー	田中 久夫
	挨拶及び本日の目的について	地区研修リーダー	本田 博己
15:20 ~ 15:50	第1話：0-列-の歴史、目的、理念、活動	パストガバナー	曾我 隆一
15:50 ~ 16:20	第2話：0-列-の戦略計画、奉仕の理念、0-列-の魅力と可能性	地区研修リーダー	
		パストガバナー	本田 博己
16:20 ~ 16:30	休 憩		
16:30 ~ 16:50	第3話：事前アンケートの結果発表	ガバナー	田中 久夫
16:50 ~ 17:30	第4話：私の0-列-・モメント披露		
	テーマ1：「この瞬間から、私は0-列-が好きになった。」		
	テーマ2：「自分の0-列-人生の中で最も楽しかった思い出」		
		第一分区 ガバナー補佐	大島 秀夫
		第二分区Aガバナー補佐	遠藤 二三夫
		第二分区Bガバナー補佐	森田 高史
		第三分区 ガバナー補佐	永井 乙彦
		第四分区Aガバナー補佐	中野 正美
		第四分区Bガバナー補佐	槻岡 行支
		第五分区 ガバナー補佐	山田 晃
		第六分区 ガバナー補佐	岡田 稔
17:30 ~ 17:40	講評・閉会の辞	次年度地区研修リーダー	
		パストガバナー	竹内 正幸

第Ⅱ部【懇親・名刺交換の部（立食型式）】 （参加希望者のみ）

<司会> 地区副幹事 金井 克智

18:00 ~ 19:00	挨拶	ガバナー	田中 久夫
	乾杯	ガバナーエレクト	宮内 敦夫
	懇談		
	中締	ガバナーノミニ	森田 高史
	ロータリーソング「手に手つないで」	ソングリーダー	
		地区副幹事	竹山 哲夫



2017-2018年度下期会員増強・維持に関するアンケート集計結果

2017-18年度 【会員増強・維持に関するアンケート】集計結果

クラブ名	7月1日		1月1日		6月末日予測		退会者数		
	会員数	(女性)	会員数	(女性)	会員数	(女性)	本年度	前年度	
第1分 区	前橋	118	10	117	10	125	11	9	8
	前橋西	58	5	60	6	63	7	2	6
	前橋東	51	5	51	5	58	6	1	12
	前橋北	70	3	73	2	75	3	1	7
	前橋南	40	1	44	2	47	3	0	0
	前橋中央	27	6	26	6	29	7	2	3
小計	364	30	371	31	397	37	15	36	
第2分 区A	桐生	63	6	65	6	70	7	0	8
	桐生南	24	1	23	1	24	1	2	2
	桐生西	59	5	63	8	65	8	1	5
	桐生中央	21	3	21	3	21	3	0	1
	桐生赤城	42	8	44	9	46	10	0	3
小計	209	23	216	27	226	29	3	19	
第2分 区B	伊勢崎	88	3	88	3	93	4	1	3
	群馬境	22	1	25	1	27	1	1	2
	伊勢崎中央	84	5	87	6	92	7	0	3
	伊勢崎南	30	1	33	1	37	1	0	1
	伊勢崎東	32	1	32	1	32	1	1	1
小計	256	11	265	12	281	14	3	10	
第3分 区	高崎	118	9	125	11	130	12	7	9
	高崎南	68	6	72	7	72	7	0	1
	高崎北	66	0	64	0	72	2	5	5
	高崎東	40	1	41	2	48	3	0	0
	高崎ソニー	41	4	43	4	45	4	0	1
	高崎外丸	34	0	34	0	38	1	1	3
小計	367	20	379	24	405	29	13	19	



2017-2018年度下期会員増強・維持に関するアンケート集計結果

2017-18年度 【会員増強・維持に関するアンケート】集計結果

クラブ名	7月1日		1月1日		6月末日予測		退会者数		
	会員数	(女性)	会員数	(女性)	会員数	(女性)	本年度	前年度	
第4分 区A	太田	71	3	73	3	78	3	0	0
	太田西	18	2	18	2	20	4	0	0
	太田南	46	3	45	3	50	3	3	3
	新田	18	1	24	2	27	2	1	0
	太田中央	55	3	54	3	60	3	1	3
	小計	208	12	214	13	235	15	5	6
第4分 区B	館林	49	2	52	2	54	3	0	1
	大泉	33	3	34	3	36	3	0	1
	館林西	21	1	23	1	25	1	0	1
	館林東	23	3	21	3	21	3	2	1
	館林ミアム	25	0	26	0	28	1	0	1
	小計	151	9	156	9	164	11	2	5
第5分 区	渋川	62	5	61	5	65	6	1	4
	沼田	67	1	70	2	73	2	0	4
	草津	17	1	17	1	17	1	0	2
	中之条	21	1	21	0	22	2	2	3
	沼田中央	51	4	44	3	45	3	8	11
	渋川みどり	37	2	38	2	40	1	0	2
	小計	255	14	251	13	262	15	11	26
第6分 区	富岡	44	4	45	4	47	4	1	6
	藤岡	51	3	53	3	58	3	1	3
	安中	51	3	51	3	51	3	0	2
	藤岡北	17	1	16	1	17	1	1	0
	富岡中央	37	1	39	1	41	1	1	3
	碓氷安中	10	0	11	1	12	1	0	1
	藤岡南	16	1	16	1	17	1	0	2
	富岡かぶら	27	0	27	0	29	1	2	0
	小計	253	13	258	14	272	15	6	17
	総計	2063	132	2110	143	2242	165	58	138



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

まず、冒頭にニューヨークのチャールズ・モリスがあるロータリークラブにおいて、次のような話をされたのをご紹介します。

「あなた方の前に立つ私は、ロータリーが進んで行く上に、定められた運命というものがあると、強固でゆるぎない信念を持っています。即ち、これまでの50年間の素晴らしい足跡は、これからのより偉大なロータリーの未来に対する礎であると信じています」と。

私はチャーリーモリスの発言を聞き、善き仲間である喜びを覚える一方、未だ、私たちが期待しているその運命が見え切っていないのではないかと思う。私たちはその運命にたどり着かねばならない。それがどのようなものなのかを明確にしていかなければならない。私はその運命に向かって速やかに、可能な限り何千回も地道な実績の積み重ねを重ねていく以外にロータリーの究極的目標に近づくことは無い。

昨年7月国際ロータリー会長のA.Z. ベーカーは今年度の実践プログラムとして、「リソースの拡充」を世界中のクラブへ発信した。究極的目標を達成するために次の5つの方法が提示された。その結果多くのクラブへ周知をされたが、果たして私たちは喜んで賛同し、優れた意見を言うことはいと簡単であるが、最終的に本当に効果あるところまで届かないのである。

ベーカー会長のこの5つの提言に果たして何人がきちんと心に刻んだらうか? ここで皆さんに再確認をしたいと思います。

1. 真のロータリアンをより多くもつこと。-単に会員数を増やすのではなく、会員とロータリアンとでは差異がある。
2. ロータリーをロータリーにふさわしい働きをすること。
3. ロータリーをロータリーにふさわしい居場所にする。
4. 他人との相互理解を醸成すること。
5. 私たちに続く次世代の若者たちを育成すること。

これらの5項目は全てのロータリアンが守るべき事項であるし、多分皆さんの中にも何も特段目新しいものではないと思われるでしょうし、常にロータリーのプログラムに謳われています。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

だとすると、何故、ベーカー会長は改めて強調したのでしょうか？ 何回も何回も強調し続けるには相当熱い情熱無しではできないのではないのでしょうか？

正に、ロータリーの中で日常的に埋め込まれることが大きな狙いであるからです。私たちがロータリーの理念観に対する情熱が消滅しないこと、義務や責務としてリーダーに対しての恒常的な忠誠心が確固たるものであるべきです。

真のロータリアンであるためには、私たちは心の内に永久の炎を灯し付けなければなりません。最近、強く感じた言葉として；「あなたは自分がより大きくなるには、あなたのクラブいや、国際ロータリーより強固な強い信念を自ら保持していなければなりません」

あなたは今まで、クラブの全員が真のロータリアンであれば素晴らしいことだ、と聞いたことはありますか？ 私は聞いたことがあります。

あなたは今までロータリアンは自分のクラブ外には関心を持たないと聞いたことはありますか？ 私はあります。

あなたはこの国で平均的なクラブや地区協議会で国際ロータリーの立法に関して少しでも関心を持たないと声があることを聞いたことがありますか？ 私はあります。

この2つの質問は少し誇張されすぎかもしれませんが、ロータリアンの注目を喚起するには必要です。もし、何処でもこの質問条件を受け入れて、気持ちの切り替えできるロータリアンがいれば、変化への進取な気持ちがあることになります。

今日、国際ロータリーへの参加に対して無関心なクラブが多いだけに、できるだけマニフェスト化して刺激、誘導を図ればクラブは潜在能力があるものです。

私たちのクラブの中で一つ、国際ロータリーが過ちを犯さないためには常にエバンストンが魅力あるサービスを構築すること。そのためにはロータリーに対して忠誠心のある優秀なスタッフと並んで、この運動に対しての十分に思考力のある特別なロータリアンが必要不可欠です。

国際ロータリーはクラブの集合体(以下RIとする)です。つまり、構成員はクラブであり、クラブを構成するロータリアンです。私たちのクラブ指導者はRIの各種委員会と同じ管理下でプログラムの決定に協力していかなければなりません。

私たちのクラブは「ロータリーの目的」を常に地域的に実行するのみでなく、人生の道、人生の確かな生き方の道として、究極的に世界規模での「奉仕の理念」の受容を進めなければなりません。

RIに構成員として参画することは、一人一人の会員が属するクラブが参画することです。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

胸に響く波動(The Echo of Heart Throb)

ロータリーの根幹は無形のものであり、精神的な概念であり、1905年に一人の男が仲間を大切にしようとする胸に響く波動が基本です。

50年経って、ロータリアンは組織の拡大を図り、素晴らしい運動を築いてきました。

私たちはもっと素晴らしくなることを望んでいます。その根本の運動理念は、ロータリー精神であり、それは私たちが亡くなった後も永久に続くものでなければなりません。

奉仕の理念とは、他者に対する思いやり、他者へ手を差し伸べることです。それは、一部の人のためではなく、全ての人々に対して、時々ではなく、毎日、毎時であるべきです。

私たちはこのロータリー精神・ロータリーの理念が何百万人の方々に受け入れられて、自分のものになりますように、決して単にロータリークラブの会員のみで終わらないように願うものです。

32年前の国際大会で次なることが決まりました。

「一つのロータリークラブは事業と専門職の人の一団体であり、構成員は「奉仕の哲学」を受容し、追い求める人たちであり、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外のすべての人々にもロータリーの理解と実践の両方を推進する。」

私はロータリーの新しい考え方(アイディア)について話をしてきましたが、今私たちは人間社会において「奉仕の理念」とは何か? について新たなビジョンを樹立するべき時です。

実際、32年間という一つの世代で、ロータリズムとロータリーの実践活動はロータリアンでない人々によって刺激、影響を受けて多くの良い行動に結びついてきましたし、今なお、そうであると思います。

今日までは、死者より出生者の方が35,000人多い数字です。世界の人口は一年間120万人増加でし、19世紀末から見ると年間5~6百万人増えたことになります。ロータリーは20~25億人の中では、ほんの僅かの部分ではありますが、絶えず何百万人の方々にロータリーのメッセージは届けてきました。

私たちはかつてロータリアン一人一人に対して、月に一人に向けて「奉仕の理念」つまり、他者に対する思いやり、手を差し伸べることの人生の生き方を奨めてきました。結果として、一年間で延べ4~500万人にも達したのです。

この夢計画は当然、数字上の単純化されたものでありますが、何事も夢を見るだけでなく、計画して実行を伴わなければ、完遂出来ないことが証明されました。今や、月への旅行が単にジョークでは無くなったし、今世紀は科学・化学の分野では驚異的な進歩が可能世紀です。ロータリアンは心理学と人間関係で同様な進歩が可能です。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

私たちはリソースを拡充して、他のロータリークラブの例ですが、コンゴからのベルギー人やエチオピアやトルコ等からのロータリアンが増強されたことは大変喜ばしく、ロータリアンでない人達に色々な方法で彼らの人生の中に「奉仕の理念」を受容させる体験をできることに確信を持ちました。

しかし、私たちは辛抱よく、持続的に進めていかねばなりません。

更にこの動きを継続するには----

私たちは真のフェロシップ(親睦)とサービス(奉仕)の精神並びに実践をクラブの中で進展させ続けるようにしなければなりません。

また、私たちの事業や専門分野の中でも奉仕の理念を他者に対して示し続けなければなりません。

私たちは自分たちの地域社会に対して大切な支援サービスの心を示し続けなければなりません。

私たちは世界中のロータリアンの仲間たちとの出会い、交流し、私たちの家庭においても他国からのロータリアンや学生たちを歓待すること。そして、他国における修士獲得後学生に対してポールハリスを拡大し続けなければなりません。

私たちはこれらのことを誠実に且つ上手く実行すること。もし、中断したりして、大切な大きなロータリーの総括的目標の実現に失敗してしまえば私たちは単に、20~25億人に対しての人騒がせになってしまい、不幸な世界の中の一握りの仲間にしかならなくなってしまいます。私たちは持続性を保つという大きな仕事を持っているのです。

私たちが「天国でと同様、この地球上でも実現できる」と祈りを捧げる時、私たちはきっと神様は人間に対してこの地球上でやり遂げられる力を与えてもらえることを確信します。

何百万人に対して目に見えないアイデアを埋め込むことは一見不可能に思われるが、私たちのプランが適切で揺るぎない信念での実行で完遂できるとの確信には何の限界も存在しません。

幸いに、私たちは他の奉仕団体に多くの同士がいます。例えば、キリスト教会、ユダヤ教会、クエーカー教会、聖クリストファー、救世軍等々で皆男女や子供達に個別的に接することができます。私たちは彼らもより良い世の中にしていくことは嬉しいことです。

しかしながら、世界規模で50年間にわたって数々の経験を持つロータリアンはより良い世界にするためのあらゆる努力を誰よりも先頭に立つものでなければなりません。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

私たちロータリアンが超我の奉仕を強調するには世界の主要な宗教に内在する種々な教訓とのすり合わせを図る必要があります。

肯定的には:汝がしてもらいたいことを他人にも施せ。否定的には:汝がしてほしくないことは他人にしないこと。

ロータリーのこの素晴らしい冒険はいかなる新宗教の啓示でもなく、またいかなる新しい哲学的教えでもなく、現代の人間関係の中で育ってきた伝統的な教えを方法論として効率化してきたということです。

ポール ハリスと初期のロータリアンはビジネス関係に不滅の真実を見出し、最終的にすべての人間関係にも適用することを発見したのです。

今日、私しそして私たちの仲間のロータリアンは、ロータリーが世界中の人間関係のことで何か改善できることがないかに関心を寄せなければなりませんし、私たち政府に対しても世界の原子力エネルギーを産業や農業等の発展に使える方法を図るように言わねばいけません。

そのようにしようと決めれば、私たちはクラブ内や共同体の中でやるべきすべての事柄に刺激を加え一方では、ロータリーの持つ偉大な究極的目標の構築を図らねばなりません。

単に図るだけではなく、いかにしたら完遂できるかが大切です。今、多くの方がいろいろ動いています。中にはハーバートデーラーの4つのテストに注目している人もいますが、コウノトリが赤ん坊を連れてくるのと同様に「奉仕の理念」を推進させる私たちはそんなに忙しいのでしょうか?

THINKING—RIGHT AND WRONG(正しいか間違いかを考える)

コウノトリの動きと張り合うぐらいに私たちは全ての国のすべてのクラブのすべてのロータリアンの思考を結集させなければならない。最近、土曜レビューの番組でノーマンカズンスが話していたのは「考えることは人間の歴史の中で基本的なエネルギーである。文明は機械でなく、考えることによって作られる。」また、「誰も分かった風に見えるのは、自分たちを守るためとか、自由とか男の根幹を支えるための戦争よりも彼女の方向性に委ねるべきとの考えである。しかし、誰が一貫した考え方を付与しているのだろうか?」

ロータリアンの中に一つの「異なる方向性」を見出している。しかし、私はカズンス氏へ電話して彼らが果たして「一貫した考え方の付与」がしているか否かの確認はしていない

私たちの国の何百万の人々は、ロータリーについても「奉仕の理念」についても全く知らない。多分、ロータリークラブがあるご当地ではロータリークラブがあることは誰も知っているが、果たして、何人がロータリーの目的、ロータリーの理念その一部となる偉大な冒険について知っているのでしょうか?



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

この偉大な運動に関しては皆さん、皆さんの多くの思考が必要ですし、いろいろな手順と手順の変化が必要であるし、それは私たちの町や国、他国迄へのロータリーメッセージとなるようにしなければなりません。

共産国家にはロータリークラブはありません。もし、この国が共産主義に乗っ取られたら民主主義、自由主義、利他主義そしてロータリークラブとも

サヨナラとなるでしょう。この頭の体操は私たちすべてにとって深刻なことであります。それは魔王サタンが天国から追い払われて以来のもめごととなります。同時に、人々のマインドや精神的支柱との葛藤でもあります。

この葛藤の出口にはすべての人々の心の安寧や善意と理解の展開に結び付き、他者に対しての思いやり、手を差し伸べるのが自由となりますし、人種の多分一部の極端な考えの者たちや、奴隷根性の者たちを減少させることとなります。

ジュネーブ以来コムラド・フルフチョフが共存に関する発言が良く引き合いにでる。「微笑は誠実の証しであり、私たちは平和の中で暮らしたい。しかし、もし誰かが私たちの微笑をマルクス、レーニンや共産党員の道筋を捨て去るように思ったら、彼らは馬鹿げているのです。彼は共存をしたいのです。長年資本家として歩んできたあなたには、そうは見えないし、あなたのシステムが古びて腐敗していることに気がつかないのです。先に進んで挑戦しよう。そして誰が正しいのか判別しよう。」

明らかに、共産党員は確信的な自信を持っていて、それは好きだとか嫌いだとかにかかわらずプログラム化されている。自由世界の人々も自信をもってはいるがどうやって胸中ではっきり区別を明確にさせようか？ 共産党員の挑戦に対して、良く練られた非軍事的プログラムを持っていると言えようか？

私たちは単にそう望んで待っているだけでは勝てない。

その点ロータリアンは対抗できるプログラムを作成できる自由世界のリーダーとしてふさわしい立場にいます。

DEMOCRATIC PARTICIPATION(民主的な積極参加)

ここでRIの会員であるクラブを積極的参加という別な視点で見よう。

ロータリー運動は最初、民主主義的運営方法からかけ離れたものから始まり徐々にRIへの参加と運営が変わってきたのです。そして更に指揮命令が巨大となりクラブから遠く、理事会と委員会そして事務方へと遠くに移ってしまいました。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

この傾向に反対する声は聴き流されてしまい、やがて制度化されたのです。

しかしながらこの反対の声のうねりは止まず、増幅されて鬱積となり、ついに第二次世界大戦の区切りでは手の負えない状態となったのです。

ここ3年間に、RIの中央管理機能と共同組織体の構成員であるクラブとの間の在り方が再検討され、結果として基本的に民主的な方法に切り替えをすることになりました。常識的に一言でいえば、RIはクラブの集合組織体であること。方針並びに運営手続きの改訂については、会員であるクラブのより積極的な参加を図り、今まで失われた民主的手順を取り戻すことになったのです。

中には、クラブがそう積極的に参加しなくても良いのではないかと、そう望まないという人もいます。しかし、私は前からそうあるべきであると主張してきた民主的方法をもってのみ、ロータリーの運命が定められると信じるし、各クラブの人もそう思い、行動するべきとやってきたのです。

私たちのクラブは単に昼めしを食べるだけのクラブではありません。しっかりとRIという共同組織体を構成する会員なのです。クラブリーダーとメンバーはその点を自覚願いたいのです。

1932-33年に戻ります。RI会長はC.P.クリントン氏(現U.S.上院議員)

その年度で会長はクラブによってはロータリーに対する関心度が欠けていることに注目しました。記録としてRI理事会は次のように助言しています。

「単に関心を引くことや娯楽的な計画をするよりもっとロータリーの題目に沿った計画に力点を置くように」と。

ロータリーの題目とは何でしょうか？ もちろん、地域におけるクラブの超私の奉仕活動もありますが、大事なことは理事会とか委員会にてこの題目についての議論を閉じ込めないことです。みんなでその議論に積極的な加わらせることです。このようにも言えます、「私たちは最もよく理解し最も多くロータリーの題目に積極的に関わること」

地域の事柄に敷衍すれば、ロータリー運動のメカニクはRIの運営にも関連してくる事があります。クラブのメンバーとして議論することは即、ロータリー運動の新しい関心事を発見することにも繋がりますし、地区協議会、地区大会、プロジェクトや活動にもつながってきます。そして、私は最終的に目指すロータリーの偉大な究極的目標に到達するための情熱となることを信じる。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

REVIEWING PROPOSED LEGISLATION(提案立法案の見直し)

今日、私たちはRIの立法案に対して、常に最新の立法案に参画する責務を負っています。しかし、古いクラブの中には責務を感じていないところもあります。実際今日までクラブが立法案の提案に不適切な経過があり、その結果新しいクラブまでが同じ様な状態になってしまいました。

今、RIは定款の修正を2年には一度、規則の多岐にわたる見直し提案しています。

最近では、来年6月フィラデルフィアの国際大会で各クラブと会員が立法案に対する見なおしの行動をするようにスケジュール化がされます。去る5月にすべてのクラブに対してそのためのリフレットが送られました。

もし、国際大会で採択された立法案が私たちのクラブや会員にとってどのような影響を及ぼすのかを見るだけでなく、大きな視点でロータリー運動の繁栄に繋がるのかを是非見てほしいのです。

地区協議会においては、クラブの代表者たちは自分たちのクラブの結果と地区内他クラブの結果と比較する機会が与えられます。

規定審議会のアドバイザー(地区協議会から選出)は、その地区やクラブからの結論を持っているので、国際大会の審議会で周知ができるのです。

従って、国際大会のセッションの中で、世界中のクラブの代表者たちは審議会の色々な審議過程や助言等を勘案して、出された立法案に投票するのです。

これが、私たちRI組織のなかでの民主的な方法での運営です。更に私たちは円滑で効率的に進めるために、私たちは非政府かつ世界的規模で民主的運営方法を進めていくことに誇りを持っています。そして、このことは民主主義が大変危うくなっている世界情勢の中できっと良い見本となります。

OTHER PHASES OF PARTICIPATION(他の参画のありかた)

まだ、ほかにも違った面でクラブは積極的な参加が求められますそれは、私たちやあなた方のクラブは地区協議会でも識見豊富でビジネスの会議でも良く洗練されている人々に是非参加して発言してもらいたいのです。

そうすることが私たちクラブの義務でもありますし、そして資格者としてまたは代理として国際大会に積極的に参加し、議論をして投票することが必要です。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

同様に、ゾーンから選出されてRIの会長指名委員会に参加する場合でも良い発言をし、それが功を奏せば次年度の優れたRI会長選出に結び付くのです。

これら一連のことは毎年クラブが心がけることですが、2年に一度は地区から優れた見識をもつロータリアンを国際大会の立法案諮問会議に影響を与えるように参加させるべきです。

更に、私たちのゾーンから2年任期のRI理事会メンバーの選考に関わります。理事会は300万ドルからの収入と200万ドルを超える剰余金の管理を任されているわけで、ビジネス的にも1大組織です。

付随して言えることは、もし私たちクラブが民主的に参加して代表者指名選考に加われることが分かれば、大変勇気づけられることでしょう。

私はこれまでも言ってきましたが、クラブはRIの一員としてRIを継続して民主主義を守っていく責務があります。

個人的または代表的参加、通常は両方であるが民主的な方法がなければ決して会員の継続的参画はあり得ません。

私たちが立法案を検討する、ロータリー運動の管理やプログラムに関連して考える時は、あくまでも私たちクラブ並びに属する会員たち独自の参加になるのです。同じく、国際大会投票人を選ぶのもクラブですし、もしあなたのクラブが地区、ゾーンへ送る時の合同の代表者を決める時もクラブの意思です。

誰を選ぶかは、参加する私たちの代表者に委ねられるのです。

DEVELOPING NEW IDEAS(新しいアイディアの展開)

今のロータリー運動はまだ、一本立ちが出来ていません。ロータリーは常にビジョンを持ち、警鐘を鳴らし、変革の可能性を追い続けなければいけません。ロータリーは生きている有機体であり、人生の一つの法でもあります。

ロータリーの目指す運命にたどり着くためには、遅かれ早かれ現行の方針なり手続きを変えることが必要です。

あなたのクラブには新しい手続きが存在しますか？ いつですか？ あなたの地区ではどうですか？ 総じてロータリー運動の中ではどうですか？ あなたの事業や専門分野で四半世紀前のやり方が残っていますか？

修士課程の学生に対する拡大を続けたポールハリスフェローシップはここ10年近く前に見直しを迫られました。クラブによっては「ロータリー目的」との整合性を考慮したプロジェクトの検討をし始めてはいませんか？



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

ポール・ハリスはかつて、強調していました。つまり「ロータリーは何千人の人々の心の産物であった」と。ロータリーの未来はまた、何千人かの人々によっての思考の結果で決まらなければならない。それはもしかしたら何らかのロータリアンでない人たちかも知れない。

RIの共同体の外側でロータリー運動の今日的問題にたいするアイデアが出始めている。

そこには、何年かあるべき方向性とは何かのアイデアが既に出されてきている。

できれば、あなたのクラブがそうであって欲しいし、価値あるアイデアを出してきてもらいたい。

私たちはロータリーの中の新しいアイデアを単に拒否、恐れるのではなく、それが持つメリットがどんなものなのかを検証して欲しい。

それはそんなに多くはないかも知れないが、採択・棄却される前に世界的規模で他の人々が価値あるものと認知するかも知れない。そして、そこかしこのアイデアの中には「澄み切った光を放つ宝石」であることを見出すかも知れません。

CLUB PROGRAM TOPICS(クラブの特徴あるプログラム)

ロータリークラブ中のプログラムに話をもどすと、どうあるべきかについては、クラブによっての差異があると言えます。強いて言えば、的確な筋や指示系統によってのプログラムにおいては、クラブ内の検討を省いて正当化してしまっている節があるように私には見えます。他のトピックスの点付けはそのクラブによって、なされなければならない。

現行立法案を提出する場合は、確実にクラブ内での検討を経るが、他の件では省略してしまうケースがあるが、そのようなクラブから決して立法案は出されることはないと言えます。

そういうクラブは単に興味あるプログラムのみが楽々と通過してしまうのです。

例えばロータリーの初期段階で「奉仕の理念」をロータリアンだけでなく全ての人々に感化させようという決めたことなどもそのケースです。あなたのクラブ内で議論して自ら「奉仕の理念」を再確認するか忘れ去ってしまうかを決めるのです。単純に私の言ったことを鵜呑みにしてほしくないのです。

その上で、もし、あなた方がロータリアン以外の人々に対して人生の生き方として、他者への思いやりと寄り添うことの大切さを説いて拡大しようとするならば、何がクラブにとって最も効果的に進める方法なのかを議論し続けることです。このことは個々のロータリアンでも同じであり、RIにとっても同様なことなのであります。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

私たちはUSゾーンからRI理事を選出する場合、現行システムを続ける方が好ましいのか、それともゾーン別に指名委員会を組織すべきなのか、を研究すべきではないでしょうか？（誰かが、現行のシステムは何か、問われればそれは、あなたとメンバーで現行システムについて勉強検討することが初めての良い経験となり、詳しくなる良い機会となるでしょう）

私たちはRI理事会メンバーの現行決定方法が果たして、ロータリー世界があらゆる考え方や異なる宗教や文化を持っている今、十分に満足すべき方法なのかどうかを再考してみてもどうだろうか？ この議論をすることで全体としてロータリー運動の興味深い絵柄を多くの方々が描く妨げには決してなりません。

この直近の示唆に関連して私の認識は、毎年国際協議会はRI理事会によって次期ガバナーの心得、義務として傘下のクラブ取り分け歴史のあるクラブが「課題」に関して時間と労力を掛けても価値のある考え方を習得させるのです。

MANUAL ACTIVITY IN CLUBS(クラブにおける活動マニュアル)

私の認識ではRIの中で特に責任ある地位にある人、就いたばかりの人、これから就く予定の人たちの中では、ロータリアンのランク付け、区分けを過度に扇動する傾向を心配しているロータリアンが少なからずいる。その人たちはロータリーの現行定められている手続きの在り方に反しているのではと感じているのであろう。しかしながら、そう感じている人がいるにせよ私は、永劫すべきクラブの精神行動としてのこのロータリー活動の価値をしっかりと認識すべき時であると思う。

私のロータリー運動に対する真の信条は、この運動を力強く、効果的に達成することであり、これは単に理事会や委員会に留まらず、クラブの会員増強においても同様であり、具体的な運動のプログラムや将来性そして、この運動のメカニズムを考えることが正に、ロータリーの偉大な究極的目標への議論の拡大に広がるのです。

もちろん、のようなクラブでの議論は正しく組織化され監理されて立法案提案の見直し提案に結び付くものでなければなりません。それはきっと可能です。

民主的手法は、どの場合でも決してオートメーション的になってはなりません。常に人間的に考え、人間の手でもって、思いをはせて成功させるようにせねばなりません。

私たちはRIの民主的方法を図ることは、ロータリーの草の根、構成員のクラブ、その指導者、委員会、その基礎となる個々のロータリアン抜きでは決して成り立ちません。更に効果的に進めるためには民主主義、自由そして利他主義何よりもこのロータリー運動自体が完璧に民主的であらねばなりません。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

総じていえば、この運動はクラブそれ自体の関心事でなく100%ロータリークラブからは離れているものです。クラブ例会では一般情報やレクチャーとしてまたは旅紀行映画として関心と呼ぶかも知れません。しかし、ロータリアンならばどこへでも行くことは可能です。ロータリーを知りうるのはロータリークラブでのみですし、それがロータリー情報やインスピレーションです。それにはロータリーへ加わり、求めることです。いやそうであるべきですし、レベルダウンさせてはいけません。

この世界で利他主義を広げ、実現に結び付けるのには自由と民主主義が必要です。世界のロータリーが民主主義、自由そして利他主義で波動を受ける時は、ロータリーの持つ運命の達成に向かって現在隠れている能力を必ず発揮すると思います。

全てのクラブは少なくとも「発泡するプラグ」であるべきで、民主的手続きに長け、寛容な自由がわかり、「超我の奉仕」という利他主義を理解して献身的であり続ける人がいることで

GREAT OBJECTIVE--DESTINY(偉大な究極的目標=運命)

1919年ソルトレイク市での国際大会が閉会となつてのホテルロビーで花束を持った一人の男がRIの事務長に近づいて次のように言った「すいません。あなたたちの大会についての新聞を読んで参りました。あなたたちロータリアンは何か良いこと、何か微笑ましいこと、何かたくさん世界の為になるようなことをなさると知り、ここに庭から花を摘んできました。しかし、大会は終わりと知り、この花束をロータリーの成功の為に私が祈っている証として、お受け頂けませんでしょうか?」と。

庭で栽培した花束を手にした一人の老人の現れは、丁度ロータリーが35年前に世界で必要とされているものは何かを探していたことの検証を迫られたのです。未だ世界必要としているのでしょうか? もちろんのこと、以前よりましています。ロータリーは世界に対して以前よりも更により広範囲に、より深掘してより効率的にニーズに応じて行くべきでしょう。

その答えは多分遠回りのですが確実にあなた方と私しに掛かっています。

換言すれば、40~50万人のロータリアンの全身全霊に委ねられているのです。

このことはRIの主要スタッフや委員会だけではとても手に負えない大きさです。彼らはリーダーシップ、的確な助言、時には何千万人もの人々と私たちとの協同契約をするなど計画の実行を支えます。



Rotary's Great Objective

「ロータリーの偉大な究極的目標」

「源流の会」アーカイブより(2017年6月)

チェスレイ・Rペリー

*1955年11月米国コネティカット州のIMにて

世界中の政治家や外交官たちは議会の議場で、言い争ったり、議論したりそして同意したり、不同意を繰り返す一方で、ロータリーは静かにそして穏やかに、私たちと同様に普通の生活をしている町の内外の住民、更には国内外の人々と近づきになるべきです。そして、全ての人類が他者に対して思いやりの心と手を差し伸べるようになるまで私たちの仲間には招き入れて共に「超我の奉仕」を希求していくべきです。これこそが「ロータリーの偉大な究極的目標」です。これこそが「ロータリーの運命」なのです。

このための達成に今まで多くの努力をされてきたロータリークラブに祝意を表すると同時に、今もなお、会員がよりこの偉大な考え方の理解拡大と実行に挑戦されているクラブに敬意を払います。最終的には、講和ができ、健康的であり、平和と幸福が享受できる時代を目指すのです。

最後に、私の考えを一方的に注ぎ込んでしまいましたが、ご清聴頂き感謝します。

ありがとうございました。

(講演終わり)

(邦訳者後記)

2005年ロータリー100周年記念国際大会がシカゴで開かれ、その折ロータリーワン=シカゴロータリークラブにメーキャップ出席し、目にしたのが「チェスレイ・R・ペリーのロータリー人生」という小冊子で早速購入し、感銘致しました。本の冒頭にポール・ハリス:「もし、私が国際ロータリーの設計者と呼ばれるのであれば、チェスは正しく国際ロータリーの構築者と呼ばれるべきである」チェスは1872年9月12日生まれでロータリー・クラブ国際連合会事務総長(今のRI)を32年間務められて1960年2月21日に逝去されました。

この度、2680地区PDG田中 毅先生が主宰する「源流の会」のアーカイブに載りました中に“Rotary's Great Objective” By Chesley R. Perry, at an inter city meetings in Connecticut Nov. 1955 注目したのは、チェスが亡くなる5年前のスピーチですので、彼の長年に亘って創設者ポールハリスと共に正にロータリー人生を送られた方のロータリーに対する信条は何なのかを語る集大成のスピーチではないかと思い、拙訳してみました。誤訳の部分もあろうかと思いますが、ご寛容の程お願い致します。

今、日本ロータリーが2020年に100周年を迎えつつある中で、このスピーチが「温故知新」の鏡として大変意義深いものであることが今回の一番の収穫でした。

つまり、チェスが何よりもロータリー運動の根幹をなすのは、「超我の奉仕」「奉仕の理念」「他者を思いやり、他者に手を差し伸べる」ことこそが、永久に向かうべき目標である、としているところです。

邦訳者：曾我 隆一(前橋RC)
2005-2006年 RID2840PDG



ぐんま経済新聞

RID2840クラブ紹介について

1. 木曜日発行の弊紙にて、国際ロータリー第2840地区46クラブのクラブ紹介を毎週1クラブずつ行う
2. 記載項目は、
 - ・ クラブ紹介（クラブの特徴やトピックス）
 - ・ 会長挨拶
 - ・ クラブ概要（会長・幹事名、事務局所在地、例会情報など）
 上記項目を合計600字程度で記述
3. 会長顔写真を掲載
4. フォーマット案は以下の通り



国際ロータリー第2840地区〈群馬〉

○○○ロータリークラブ

■ 会長挨拶

.....

■ クラブ紹介

■ クラブ紹介



○○会長



ぐんま経済新聞

記事掲載企画

記事内容：クラブの紹介

原稿（会長の写真を添えて）の提出先：ぐんま経済新聞社 編集部 後藤 多麻実 様

goto@gunkei.com まで

	RC	新聞掲載日 (木曜日)	原稿締切日 (厳守)
第2分区B	伊勢崎	2/22	2018.1/15
	群馬境	3/1	
	伊勢崎中央	3/8	
	伊勢崎南	3/15	
	伊勢崎東	3/22	
第2分区A	桐生	3/29	2/22
	桐生南	4/5	
	桐生西	4/12	
	桐生中央	4/19	
	桐生赤城	4/26	
第1分区	前橋	5/10	3/26
	前橋西	5/17	
	前橋東	5/24	
	前橋北	5/31	
	前橋南	6/7	5/7
	前橋中央	6/14	



ぐんま経済新聞

1/25 掲載 <高崎北ロータリークラブ>



国際ロータリー第2840地区〈群馬〉 高崎北ロータリークラブ



会長・竹中隆

出来たものではなく、創立以来、その時々での積み重ねがあつてこそそのものだと考えます。

地区大会、ライラ研究会、ゾーン研究会、新しくは、高崎商業高の模擬面接事業、実施の段階では負担に感じた事業であつても、やり遂げた達成感、充実感を共有したメンバーのつながりは、一層強くなり、それがクラブの歴史になり、厚みになってきているのだと思ひます。久しぶりに復活した青少年交換プログラム事業も、クラブの伝統といえるでしょう。

地区大会、ライラ研究会、ゾーン研究会、新しくは、高崎商業高の模擬面接事業、実施の段階では負担に感じた事業であつても、やり遂げた達成感、充実感を共有したメンバーのつながりは、一層強くなり、それがクラブの歴史になり、厚みになってきているのだと思ひます。久しぶりに復活した青少年交換プログラム事業も、クラブの伝統といえるでしょう。

ロータリークラブに限らず、組織を維持・発展させるには、継続と更新が必要と考えます。例年行っている事業に加え、創立50周年記念の特別事業を計画します。12月1日には、1200人を超える高校生向けに「挑戦する意志」スーダン・東北でのNGO活動」と題し、認定NPO法人ロシナンテスの川原尚行代表による講演会を実施しました。

■クラブ紹介
おかげさまで創立50周年を迎えました。
■会長あいさつ
私たちのクラブは、会員に恵まれ、大変良い雰囲気です。これは自然に

ロータリークラブに限らず、組織を維持・発展させるには、継続と更新が必要と考えます。例年行っている事業に加え、創立50周年記念の特別事業を計画します。12月1日には、1200人を超える高校生向けに「挑戦する意志」スーダン・東北でのNGO活動」と題し、認定NPO法人ロシナンテスの川原尚行代表による講演会を実施しました。

ロータリークラブに限らず、組織を維持・発展させるには、継続と更新が必要と考えます。例年行っている事業に加え、創立50周年記念の特別事業を計画します。12月1日には、1200人を超える高校生向けに「挑戦する意志」スーダン・東北でのNGO活動」と題し、認定NPO法人ロシナンテスの川原尚行代表による講演会を実施しました。

ロータリークラブに限らず、組織を維持・発展させるには、継続と更新が必要と考えます。例年行っている事業に加え、創立50周年記念の特別事業を計画します。12月1日には、1200人を超える高校生向けに「挑戦する意志」スーダン・東北でのNGO活動」と題し、認定NPO法人ロシナンテスの川原尚行代表による講演会を実施しました。

2/1 掲載 <高崎東ロータリークラブ>



国際ロータリー第2840地区〈群馬〉 高崎東ロータリークラブ



会長・野口茂

来期の40周年に向けて、クラブの今までの歩みや変遷を振り返り、よき伝統を引き継ぐとともに新しい試みにも挑戦してよりいっそう活気のあるクラブを目指します。私たちは、来山留学生・交換留学生への支援、高崎健康福祉大学高崎高校インターアクトクラブの生徒と行う募金活動や交通安全の啓蒙活動等を行っています。

また高崎駅周辺の防犯パトロールは定期的に行われ、その後に有る志による懇親会も活発に行われています。

例会は毎週木曜日に開催されていますが、通常例会に加え群馬交響楽団やシネマテークでの映画などの鑑賞例会を行い、会員家族の参加、親睦も心がけています。

高崎東ロータリークラブは1980年(昭一)に発足しました。31名の会

■クラブ紹介
高崎東ロータリークラブは1980年(昭一)に発足しました。31名の会

高崎東ロータリークラブは1980年(昭一)に発足しました。31名の会

高崎東ロータリークラブは1980年(昭一)に発足しました。31名の会

高崎東ロータリークラブは1980年(昭一)に発足しました。31名の会



年間行事予定表

開催日		項目	場所	
2018年	3月	10日(土)	第4分区A・第4分区B合同IM	
		17日(土)	会長エレクト・ 次年度幹事研修セミナー	伊香保温泉福一
		18日(日)	会長エレクト・ 次年度幹事研修セミナー	伊香保温泉福一
		24日(土)	第2回地区補助金予備審査会	
		25日(日)	第2分区B IM	伊勢崎プリオパレス
	4月	8日(日)	第5分区 IM	ホテルベラヴィータ
		14日(土)	第1分区・第3分区 合同IM	ラシーネ新前橋
		15日(日)	第2分区A IM	桐生プリオパレス
		21日(土)	地区補助金最終審査会	
		22日(日)	新規米山記念奨学生カンファレンス ・オリエンテーション	前橋問屋センター会館
		22日(日)	新規米山記念奨学生オリエン テーション	前橋問屋センター会館
		22日(日)	継続米山記念奨学生 資格審査面談	前橋問屋センター会館
	5月	28日(土)	第6分区 IM	ホテルアミューズ富岡
		13日(日)	地区研修・協議会	東洋大学板倉キャンパス



年間行事予定表

開催日		項目	場所	
2018年	6月	9日(土)	米山学友総会	ホテルメトロポリタン 高崎
		9日(土)	米山記念奨学生指定校選定会議	
		16日(土)	第5回ガバナー諮問委員会	
		16日(土)	現・新地区役員合同連絡会議	
		17日(日)	青少年交換受入学生歓送会・ 夏季交換学生歓迎会	前橋問屋センター会館
		24~27日	国際大会	カナダ・トロント



周年行事予定クラブ

開催日		項目	場所	
2018年	3月	3日(土)	碓氷安中ロータリークラブ 20周年記念式典	並木苑
		11日(日)	桐生ロータリークラブ 65周年記念式典	桐生プリオパレス
	4月	7日(土)	太田南ロータリークラブ 40周年記念式典	太田ナウリゾート ホテル
		24日(火)	中之条ロータリークラブ 50周年記念式典	花の駅 美野原
		21日(土)	館林ロータリークラブ 60周年記念式典	レストラン ジョイハウス
	5月	12日(土)	富岡かぶらロータリークラブ 15周年記念式典	ホテルアミューズ富岡
		19日(土)	高崎北ロータリークラブ 50周年記念式典	ホテルメトロポリタン 高崎
		26日(土)	新田ロータリークラブ 35周年記念式典	ティアラグリーン パレス



新会員紹介



氏名 増田 晋一
 クラブ 前橋
 入会日 2018年01月23日
 職業分類 厨房機器製造販売
 勤務先 増田煉瓦(株)
 役職 代表取締役
 推薦者 藤野 隆司



氏名 和田 弘
 クラブ 前橋
 入会日 2018年01月23日
 職業分類 設備工事業
 勤務先 (株)和田設備工業
 役職 代表取締役
 推薦者 平方 宏



氏名 神山 光永
 クラブ 前橋
 入会日 2018年01月30日
 職業分類 中華惣菜製造卸
 勤務先 (株)みまつ食品
 役職 代表取締役社長
 推薦者 温井 尚久



氏名 高草木 久也
 クラブ 桐生赤城
 入会日 2018年02月06日
 職業分類 電気設備工事
 勤務先 (株)三和電設
 役職 専務取締役
 推薦者 岩崎 貴幸



氏名 金井 敦
 クラブ 群馬境
 入会日 2018年01月11日
 職業分類 建築部品製造
 勤務先 (有)金井工業
 役職 代表取締役
 推薦者 田島 充



氏名 森 忠彦
 クラブ 高崎
 入会日 2017年11月15日
 職業分類 たばこ製造
 勤務先 日本たばこ産業(株)
 上信越支社
 群馬第一支店
 役職 支店長
 推薦者 田中 久夫・広瀬 雅美



氏名 小此木 正信
 クラブ 高崎南
 入会日 2018年02月06日
 職業分類 自由業・
 サービス・情報
 勤務先 (株)トーエー商会
 役職 代表取締役 兼 CEO
 推薦者 川鍋 太志・花井 好機
 ・小林 俊祐



氏名 深澤 秀治
 クラブ 太田南
 入会日 2018年01月16日
 職業分類 教育コンサルティング業
 勤務先 (株)深澤事務所
 役職 経理担当
 推薦者 久保田 文彦



氏名 本城 亮慶
 クラブ 太田南
 入会日 2018年02月06日
 職業分類 仏教
 勤務先 常楽寺
 役職 副住職
 推薦者 栗林 紀昌



氏名 佐々木 寿一
 クラブ 渋川
 入会日 2018年01月11日
 職業分類 証券業
 勤務先 S M B C 日興証券(株)
 前橋支店
 役職 支店長
 推薦者 町田久



新会員紹介



氏名 青木 貴幸
 クラブ 渋川
 入会日 2018年02月01日
 職業分類 クリーニング業
 勤務先 (株)ソフトランドリー
 役職 代表取締役
 推薦者 齋藤 清海



氏名 山本 政雄
 クラブ 中之条
 入会日 2018年01月01日
 職業分類 電気事業
 勤務先 (株)中之条オアワー
 役職 代表取締役
 推薦者 岡部 淳二



文庫通信 (366号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

文庫資料から

「ロータリーの夢と哲学～21世紀のロータリー～」 (D.2680西播第二グループIM記念誌)	久野 薫	2018	19p
「人類の繁栄とロータリー運動」 (D.2680西播第二グループIM記念誌)	中村 尚義	2018	4p
「変えてはならないロータリーの基本理念 溢れている情報を整理して理解しましょう」 松田 泰長 (D.2790月信)		2018	1p
「RLI参加者テキスト(2015-2018年度版)」 (RLI日本支部：翻訳・監修)		2016	197p
「地区リーダーチームの手引き ガバナー補佐・地区委員会委員長研修セミナーテキスト」 服部 芳樹 (D.2630月信)		2018	68p
「震災を記憶にとどめ後世に伝える 復興支援・5年のあゆみ」 (いわき平中央R.C)		2016	62p
「東日本大震災支援報告書」 (D.2530月信)		2016	130p
「8・20広島市豪雨土砂災害復興支援報告書」 (D.2710月信)		2015	76p
「災害支援プロジェクト報告書」 (D.2660月信)		2012	142p
「体験『阪神・淡路大震災』」 (西宮夙川R.C)		1997	70p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前 10 時～午後 5 時 休館 = 土・日・祝祭日



出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	2063	2110	2120	10	146	80.46

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	4	71.96	118	117	119	2	10
	前橋西	3	82.72	58	60	60	0	6
	前橋東	3	85.66	51	51	51	0	5
	前橋北	3	84.69	70	73	74	1	2
	前橋南	3	96.21	40	44	43	-1	2
	前橋中央	4	87.50	27	26	26	0	6
	合計		84.79	364	371	373	2	31
第2分区A	桐生	3	70.25	63	65	65	0	6
	桐生南	3	78.26	24	23	23	0	1
	桐生西	3	91.31	59	63	63	0	8
	桐生中央	3	63.33	21	21	21	0	3
	桐生赤城	4	82.48	42	44	44	0	9
	合計		77.13	209	216	216	0	27
第2分区B	伊勢崎	4	86.19	88	88	88	0	3
	群馬境	3	82.50	22	25	26	1	1
	伊勢崎中央	3	83.33	84	87	87	0	6
	伊勢崎南	3	73.74	30	33	33	0	1
	伊勢崎東	3	91.67	32	32	32	0	1
	合計		83.49	256	265	266	1	12
第3分区	高崎	4	82.90	118	125	127	2	12
	高崎南	4	76.38	68	72	72	0	7
	高崎北	4	80.25	66	64	65	1	0
	高崎東	3	71.67	40	41	43	2	3
	高崎シンフォニー	3	80.62	41	43	43	0	4
	高崎セントラル	4	79.84	34	34	34	0	0
	合計		78.61	367	379	384	5	26

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	3	92.23	71	73	73	0	3
	太田西	3	89.50	18	18	18	0	2
	太田南	3	84.84	46	45	46	1	3
	新田	3	93.75	18	24	25	1	2
	太田中央	3	84.57	55	54	54	0	3
	合計		88.98	208	214	216	2	13
第4分区B	館林	3	89.10	49	52	52	0	2
	大泉	4	70.25	33	34	34	0	3
	館林西	4	67.04	21	23	23	0	1
	館林東	4	87.50	23	21	21	0	3
	館林ミレニアム	3	88.52	25	26	26	0	0
合計		80.48	151	156	156	0	9	
第5分区	渋川	3	89.75	62	61	62	1	5
	沼田	4	70.80	67	70	70	0	2
	草津	2	47.05	17	17	17	0	1
	中之条	4	81.54	21	21	22	1	2
	沼田中央	3	78.50	51	44	44	0	3
	渋川みどり	4	78.91	37	38	38	0	2
合計		74.43	255	251	253	2	15	
第6分区	富岡	3	90.72	44	45	45	0	4
	藤岡	3	75.51	51	53	52	-1	2
	安中	3	64.05	51	51	51	0	3
	藤岡北	2	66.36	17	16	15	-1	1
	富岡中央	3	90.47	37	39	39	0	1
	碓氷安中	3	75.76	10	11	11	0	1
	藤岡南	3	79.49	16	16	16	0	1
	富岡かぶら	4	81.60	27	27	27	0	0
合計		78.00	253	258	256	-2	13	

2018年1月末現在



コラム

田中ガバナーの蘊蓄 その9

今回も、この「ガバナー月信」紙上に余白部分ができたので、それを借りて「ロータリー」の周辺にある言葉を蘊蓄披露します。関心のある方はお付き合いください。

第9話：ロータリーの名称

皆さんは、私たちのクラブに「ロータリー」という名称が付けられた経緯を知っていますか。ロータリーの歴史書を紐解くと、クラブ創設の当初はクラブの名前は決まっていなかった。決められたのは、1905年3月23日の第3回会合の席でした。以下は、「ロータリーの源流」（RI2680地区 田中毅PDGの訳本）から抜粋・要約したものです。

最初の提案は、「ブースター・クラブ（Booster Club）」（推進者）というものでした。辞書ではその意味を、前進を助けるために下から持ち上げるか押し上げるという訳になっていて賛同者もいたようでしたが、次に個々の会員の事務所で代わる代わる例会をすることから「ラウンド・テーブル・クラブ（the Round Table Club）」はどうかとか、「コンスピレーターズ・クラブ（the Conspirators Club）」（共謀者）はどうだ、というものも発案されていました。その後は、

ザ・シカゴ・フェロウシップ（the Chicago Fellowship）

ザ・ブルー・ボーイズ（the Blue Boys）

シカゴ・サークル（Chicago Circle）

ザ・レイク・クラブ（the Lake Club）

FFFクラブ

メン・ウイズ・フレンズ（Men with Friends）

フレンズ・イン・ビジネス（Friends in Business）

トレード・アンド・トーク・クラブ（Trade and Talk Club）

ウインディ・シテイ・ラウンドアップ（Windy City Roundup）

などの候補があがりました。なんだか何処かのゴルフクラブか同窓会の名前みたいなのがありますね。

最後に誰かが発した言葉が決め手となりました。「我々はお互いの事務所で、一種のローテーションを取り決めて会合を開いている。だから、ロータリークラブと呼んだらどうだろう。」この一言で決まったのです。

ただ残念なのが、誰がその言葉を発したのかは記録に残っていません。記録担当幹事はそのことを記録しなかったのです。こういう「落ち」があるところも、私としては大雑把なアメリカらしく好感を得られるところだと思うのですが、皆さんはどう思われますか。



ガバナー事務所よりお願い

ガバナー月信に関して

- 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 tanaka@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。（15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。）新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信のPDFデータを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくお願いいたします。

表紙写真解説 たかさき春まつり

高崎の「桜の名所」として桜の花が咲き誇る高崎城址公園と観音山丘陵。この2か所を会場として大人から子供まで楽しめる様々な催しを行います。桜とともに「高崎の春」を満喫してみませんか。

日 時 : 4月7日(土)、8日(日)(予定)
 荒天中止 午前10時～午後4時
 会 場 : もてなし広場、観音山
 問い合わせ先 : 高崎市観光課
 電話 027-321-1257